

7 糖度の高いみかん「あんみつ姫」のブランド化

だいがんじ
【大願寺集落協定：佐賀市大和町】

【取組概要】

- 耕作放棄地の解消・園地集積を目指し、貯蔵青島の高品質安定生産への取り組みが始まる。
- 全国トップクラスの品質は「土づくり」「マルチシート栽培」「熟成」にある。

地域の現状

当地区は、佐賀市大和町、佐賀平野を一望できる集落協定で、みかんの樹園地。平成12年度から協定に基づく活動を実施。

構成員48名のうち18名、役員5名のうち4名が54歳以下という比較的若い集落協定。

協定の概要(R5)

1. 取組面積 31.7ha
(田 ha 畑 31.7ha)
2. 交付金額 349.9万円
個人配分 50%
共同取組 50%
3. 協定参加者 47人
農業者 47人

😊 交付金はこんなことに活用しています！

農道・水路管理費

取組経緯

ステップ1 取り組み開始のきっかけ、開始時の苦労点

昭和59年「赤坂地区振興開発推進会」を発足。翌年まで集団による改植事業実施。10月の極早生温州から貯蔵みかんの終了する3月下旬にかけて、出荷基準をクリアしたみかんを「あんみつ姫」としてブランド化する。

マルチ栽培は、平成3年から取り組む。極早生は6月から、高糖系の8月上旬をピークに収穫期まで被覆する。

ステップ2 創意工夫した点

みかんは、雨にあたると水分ストレスがかかる。マルチシートはり、糖度を高くする。

ブランド率の向上を目指し、生産者・生産組合・大和みかん運営委員会・取引市場との連携を深め、相互訪問による情報交換を密にし、販売促進活動を実施する。大型選果機を機能改善・強化（平成24年度事業：16,150万、生傷センサー導入）する。品質向上対策として、フィガロ乳剤・カルシウム剤・葉面散布の徹底を行う。

ステップ3 取り組みによる変化と今後の課題

農業所得の安定は、後継者確保にもつながる。

新規就農者への呼びかけ、後継者組織「聖目」への勧誘を行う（会員数14名、平均年齢33歳）。労働力確保として、貯蔵みかん収穫労力支援の取り組みで、広告フリーペーパー等にて募集を行う。40名/年。

【取り組みによる効果】

耕作放棄地の解消（耕作放棄地再生利用緊急対策事業H29赤坂地区150a）・圃場集積を目指し、後継者組織「聖目」会員による貯蔵青島の高品質安定生産に繋がる。

【協定代表者から一言】

おいしさの秘密は、「土づくり」「マルチシート」「熟成」にある。蔵の中で熟成することにより、糖度の高い「コクのある」みかんとして高い評価を得ています。



大願寺樹園地



糖度の高いみかん「あんみつ姫」